



カードローン被害者の会 ボランティアの運用

陳麗蘭 報告

(カードローン被害者の会ボランティア会員)

債務と向き合う

カードローン被害者の会ボランティアに参加して4年が経ちました。2017年11月、友達の会社に空きができ、台北で仕事をしないか？と誘われ、その場で快諾しました。（当時、債務から逃れ、経済的な負担を減らすため、北部より物価が安く出費を抑えた生活ができる南部へ引越していました。しかし、南部では仕事が見つからず、バイト続けの日々で、生活は更に厳しくなり、銀行からも督促の電話が何度もかかってきました。）



就職しても、銀行に給料を差し押さえられ、それを会社に知られると、職を失うかもしれないという不安がありました。そこで私は債務を解決したいと思い、ネットで調べ、「債務者が債務に向き合い、解決するための法律相談を無料で提供している」という「カードローン被害者の会」を見つけました。これは、お金も能力もない債務者にとって、嬉しい知らせでした。私は早速電話をかけ、相談会の予約をしました。

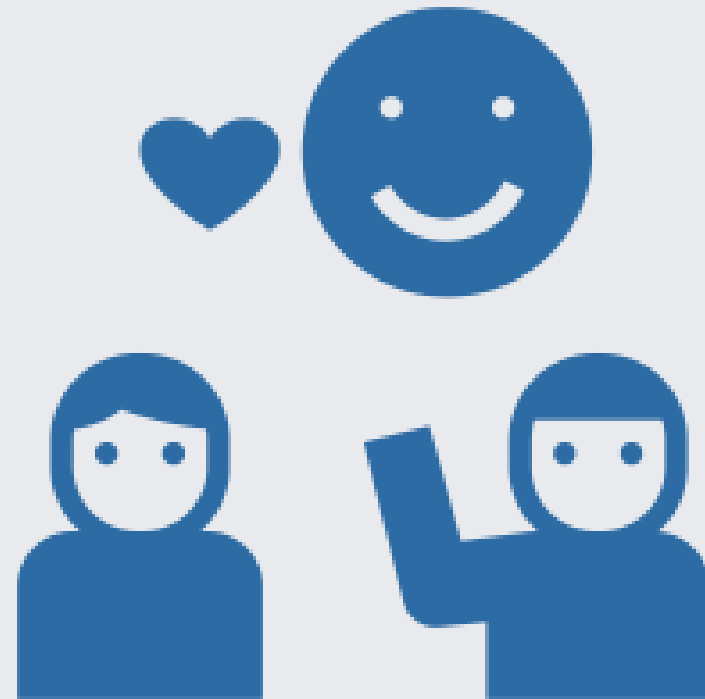
—— 助けてくれたボランティア ——



エレベーターを降りると、笑顔のボランティアに迎えられ、相談会の進め方について丁寧な説明を受けました。その笑顔を見て、私の不安は払拭されました。林弁護士による債務処理の説明と他の債務者の経験を聞き終わると、自信が湧き、債務と向き合おうと思えました。

サポートの始まり

落ち着かず不安で、助けも無く、悩みを相談する相手もいないという日々を経験したので、少しでも多くの債務者をサポートするために、自らの債務と向き合って、被害者の会が提供する消費者債務清理条例のプラットフォームで知識を磨き、頼れるボランティアとなりました。



専門トレーニング

私は先輩ボランティアから、どのように債務者の話を聞き取るのか、また、どのように債務者の心に寄り添うのかを学びました。そして、林弁護士と顧問によるボランティア教育カリキュラムにも参加しました。



消費者債務清理
条例知識Q&A



債務処理
基本の4段階

協議 調停
再生 破産



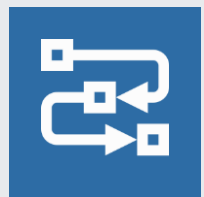
心身トレーニング

傾聴トレーニング
共感と忍耐を学ぶ

カードローン被害者の会による支援

受付ボランティア

ボランティアはエレベーターを降りてくる債務者を笑顔で迎え、不安を和らげます。説明会ではDMを使い、お互いの距離を縮め、債務者の状況を尋ね、共感したり励ましたりします。債務者が流れをしっかりと把握すると、弁護士との面談時に債務の原因をはっきりと伝えることができ、弁護士も債務者に合わせた解決方法の提案が容易になります。



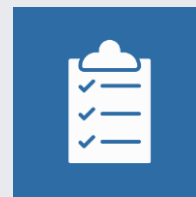
債務処理
手順の説明



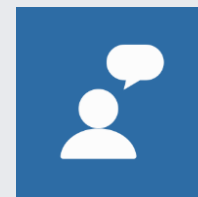
債務整理手続に
必要な資料の請求



法律扶助基金会
電話相談



法律扶助弁護士
申請書



成功例の紹介

カードローン被害者の会による支援

代表



相談会の前に、代表から債務者へ歓迎の挨拶があります。その中で、カードローン被害者の会設立11年の原点と理念を紹介し、

「自分の債務は自分で解決しましょう。誠実に、徹底して、勇敢に、粘り強く債務に向き合えば、生活を立て直すことができます。勇気を出して債務に向き合いましょう。」と激励します。

カードローン被害者の会による支援

先輩ボランティア

グループごとの相談を終え、弁護士から解決策が示された後、ボランティアが債務者を別室へ案内し、個別にアドバイスと注意事項の説明を行います。

1

法律扶助申請書を記入し、申込書を郵送後、14営業日程で法律扶助基金会が弁護士を用意することを説明します。担当弁護士が書面か電話で連絡し、書類の準備と相談をします。（弁護士には全て伝える必要があります）

2

相談者が債務解決策について理解しているかを確認し、弁護士と連携させます。弁護士とのコミュニケーションが難しい場合（弁護士は1度のみ変更可能）や、処理の段階で不明な点がある場合には、被害者の会へ相談可能です。

4

銀行や債権回収業者から催促の電話があった場合、「弁護士を通してください」と伝え、脅迫や恫喝がある場合は警察に通報してください。

3

弁護士に渡す書類のコピーをとり、保管します。渡した時間と日付を記入することで、進捗状況の把握に役立ちます。

5

連絡先を交換し、債務者に寄り添ったアドバイスを伝え、共に粘り強く案件に向き合い、債務者の人生を立て直します。

先輩ボランティア

カードローン被害者の会による支援

カードローン被害者の会の活動

ボランティアの教育・カード債務者の交流会・忘年会

支援期間中は、「誠実・徹底・積極」という会の理念のもと、扶助弁護士に協力し、必要書類の準備など、債務者の支援をします。そして、常に気を配り、近況を尋ねながら、手続きが順調に進んでいるかを確認し、問題解決の後押しをします。

債務者の息抜き場として、林弁護士が交流会や忘年会を開催し、「これは孤独な戦いではなく、会員が一丸となって取組んでいることなんだ」と債務者に伝えます。債務者の生活を立て直すため、更に多くの債務経験者が被害者の会にボランティアとして参加し、更に多くの債務者の問題解決に力を貸してくれることを期待しています。カードローン被害者の会が次の11年も続きますように…ありがとうございました…